



第 5 会場

9 月 14 日 (土) 14:40 ~ 16:40

ワークショップ 2

【臨床試験支援財団企画】

話し合う：効果的な対話のために！



ファシリテーター：中野 重行 (大分大学 名誉教授 / 創薬育薬医療コミュニケーション協会 代表)

創薬育薬医療の領域における質の高いパフォーマンスを追求する際には、幅広い範囲にいろいろな仕事をしているプレイヤーが働いていることを特徴の一つとする「創薬育薬医療チーム」の存在を意識することが役立ちます。「創薬育薬医療チーム」としてのよきチームプレイが、質の高いパフォーマンスを達成するためには決定的に重要になるからです。よい「チームプレイ」が生まれるためには、チームプレイヤー相互の間、あるいは、患者との間での「よきコミュニケーション」が必須となります。

「コミュニケーションは双方の情報を共有するプロセスである」と理解すると、私たちのすべきことが分かります。この参加体験型ワークショップ (WS) は、『よきコミュニケーション』のイメージを頭に描き、そのために必要なスキルを身につけるために行います。今回のテーマは『話し合う』です。私たちは誰かと「話し合う」とき、目的に応じて話す内容を考え、相手の反応を見て感情の動きを読み取ることが必要になります。平素は無意識のうちに行っている「話し合い」という行為について、そのプロセスを意識して体験してみます。

話す際の「話」を「内容」と「文脈」(あるいは「態度」)に分けてとらえてみます。話す際の「内容」を目の前で起こった客観的「事実」と、そのとき自分の中に生まれる主観的な「心の動き」(感情と思考)に分けて整理します。そのうえで、情報を共有する際に役立つコンセプトである『やわらかな 1.5 人称』の姿勢で話し合うというワークを体験します。限られた時間内ではありますが、「話し合う」プロセスを構造的に理解し、効果的な話し合いに必要なポイントを学びます。

2017 年の「聴く」、2018 年の「伝える」に続く WS ですが、初めて参加される方も大歓迎です。